

研究における認知症当事者のニーズと参画の推進に関する調査研究事業

支援業務

1. 目的

公益社団法人認知症の人と家族の会（以下、当会）では、令和7年度老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業における「研究における認知症当事者のニーズと参画の推進に関する調査研究事業」（以下、本事業とする）を実施している。本事業は、認知症当事者である認知症の人や家族等のニーズの解決に向かう当事者にとって益のある研究を実施していくために、昨年度の老健事業では、Patient and Public Involvement（患者・市民参画）の市民意識の現状と課題を質問紙調査により得たが、今年度はモデル事業によるPPI推進を目指した認知症の人と家族の研究的ニーズの検討を、支援者や研究者を含めて課題を抽出共有することで、PPI推進の方策を明らかにすることを目的とする。

2. 本事業概要

PPIの具体的手法として、Priority Setting Partnership（PSP:優先順位設定パートナーシップ）プロセスのTOP10課題として当事者のQOL改善、介護支援の最適化、早期発見・早期治療介入についての影響を優先順位の最上位としており、臨床現場からの当事者ニーズを研究者が認識することが重要である。また、スコーピングレビューによる認知症PPI手法の検討から様々なアプローチがある中で、特に認知症の人や家族等当事者が気兼ねなく話し合える環境設定が重要であることを指摘している。本研究ではPPI推進のためのモデル事業を構築することを目標とするが、まずは研究における認知症の人や家族の当事者ニーズおよび当事者、研究者等の異なる立場からの課題を立場別および地域別のフォーカスグループディスカッションを数地域で実施することにより抽出する。そしてそれらを合わせて検討する認知症の人と家族、研究者および有識者により構成された検討委員会によるワークショップを開催し、ニーズと課題をリスト化しPPI推進への共通認識を深める。その先には抽出課題の優先順位の検討を視野に置く。なお、フォーカスグループインタビューの前に、同検討委員会による本事業実施計画およびインタビューガイドの作成等を行う。インタビュー後の分析についても検討委員会で確認していく。一連の過程をモデル事業として捉え、PPIによる研究プロセス推進の方策を検討する。

3. 実施内容

実施内容は、下記に掲げる事業内容をご支援いただくことを検討しており、詳細は、当会担当者と協議の上、決定する。

(1) ワークショップによる調査

事前に当会が主体的に実施するフォーカスグループでのPPIおよび医療とケアの課題について討論を踏まえて「認知症にかかる研究の課題リスト」をワークショップを実施する。

- ワークショップの実施

(2) 調査結果の報告

- (1)にて得た結果のフィードバックをする。

4. 参加の手続き

- (1) 応募の受付期間：2025年9月22日（月）～10月10日（金）17時まで
(企画提案書はメールまたは郵送で必着のこと)

※提出先：

〒602-8222 京都市上京区晴明町811-3 岡部ビル2F
公益社団法人 認知症の人と家族の会（「家族の会」）（担当：辻村）
MAIL： office@alzheimer.or.jp

- (2) 応募者への結果通知：2025年10月17日（金）まで

5. 企画提案書の提出

参加意思のある場合、以下必要書類を提出するものとする。

- (1) 企画提案書（様式任意、具体的な業務内容に加え運営体制及びスケジュールを含む） (2)
業務実績（様式任意）
(3) 見積書（様式任意）

6. 業務遂行要件

本業務では専門性の高い調査を求ることから、受注者は次の業務遂行要件をすべて有するものとする。

- 2名以上の従事予定者を配置できること。
- 認知症に関する調査実績があること。
- 認知症に関するPPIに係る調査の実績があること。
- 認知症本人と家族、認知症に関わる個人、組織との連携による業務遂行の実績があること。
- 厚生労働省老人保健健康増進等事業の受託実績があること。

7. 履行期限

2026年3月31日（火）

8. 成果物

上記業務で作成した関連資料一式の電子ファイル

9. 委託料上限額

5,000,000円（消費税及び地方税を含む）

10. その他

本事業を的確に実施するために、本仕様書に記載のない事項及び本仕様書に疑義が生じた場合には、必要に応じて相互の合意に基づいた協議を適宜行うこと。

以上